

東京金融賞、サステナビリティ部門

「PIFを活用して特殊冷凍技術による 食品ロスの削減と“日本食”の輸出支援を強化」

ダイブレイク株式会社（PIF調達、事業実施主体）

株式会社商工組合中央金庫（主担当、金融スキーム構築・評価書作成）

1. 企業紹介



商工中金

特殊冷凍技術を活用して食品流通の課題解決に取り組むフードテック系スタートアップ企業

1936年、政府と中小企業組合が共同出資する政策金融機関として設立、以来85年を超えて、中小企業専門の金融機関として発展

会社名： デイブレイク株式会社/ DayBreak Co., Ltd.

設立： 2013年7月19日

資本金： 84,000,000円（払込済資本 8.2億円）

事業概要：

- ・特殊冷凍ソリューション事業
- ・特殊冷凍食材の流通事業

2024年9月30日時点

会社名： 株式会社 商工組合中央金庫（略称 / 商工中金）
2008年10月1日株式会社化

業務開始： 1936年12月10日

根拠法： 株式会社商工組合中央金庫法
（平成19年法律第74号）

店舗等： 106（国内101・全都道府県に配置、海外5）

職員数： 3,438名

資本金： 2,186億円

資金量： 97,791億円（うち、預金 63,482億円、譲渡性預金 1,852億円、債券 32,456億円）

貸出金： 95,838億円

2024年9月30日時点

2. 取組みの概要

- 商工中金のPIF（ポジティブ・インパクト・ファイナンス）を活用し、**ダイブレイク**の特殊冷凍技術による食品ロスの削減と“日本食”の輸出支援を強化

ダイブレイクの取組みについて

- 独自の冷凍技術により、これまで困難とされていた食材や調理品の急速冷凍を可能とし、従来品以上の高品質な冷凍食品を生み出すことが可能に。



商工中金のPIFについて

- 中小企業専門の金融機関として、取引先の価値向上に向けたPIFへ取り組む
- ダイブレイクの活動が、**環境・社会・経済に対して与えるインパクトを分析・評価**
- 特定したインパクトをもとに、**KPIを設定**
- KPI進捗状況のモニタリングを行い、KPI達成のためのサポート実施

UNEP FI のインパクトレーダー及び事業活動などを踏まえて特定したインパクト

入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（一定の固有の特徴がニーズを満たす程度）		
水（アクセス）	食糧	住居
保健・衛生	教育	雇用
エネルギー	移動手段	情報
文化・伝統	人格と人の安全保障	正義
強固な制度・平和・安定		
質（物理的・科学的構成・性質）の有効利用		
水（質）	大気	土壌
生物多様性と生態系サービス	資源効率・安全性	気候
廃棄物		
人と社会のための経済的価値創造		
包摂的で健全な経済	経済収束	

（青・ポジティブ/イニシアチブ、黄・ネガティブ/リスク、緑・ポジティブ/ネガティブ両方 のインパクト領域を表示）

（ダイブレイクの包括的インパクト分析結果、PIF評価書より）

3. 取組の独自性、新規性

デイブレイク～業界初の冷凍技術

- 2021年に販売した特殊冷凍機「アートロックフリーザー」は、冷風の温度や湿度、流体などを独自研究し、開発した業界初の「マイクロウインドシステム」(※)を採用
※微細な乱気流を発生させ、食材に満遍なく冷気を当てる独自技術
- 食材へのダメージを極力抑え、効率よく熱を奪うことで冷凍ムラを防止し、高品質な冷凍食材の製造が可能



商工中金

～独自のスタートアップ支援・国内初の預金商品

独自のスタートアップ支援

- 2024年4月にスタートアップ営業部を新設
- ビジネスモデル・成長ステージに応じたオーダーメイド型のファイナンススキームの提供、全国約7万社の顧客基盤を活用した販路開拓支援も実施

スタートアップ企業 に対する支援	2023/3期	2024/3期
ファイナンス 実行件数・金額	280件程度 420億円程度	280件程度 330億円程度
ビジネスマッチング 取次件数	350件以上	1,050件以上

国内初の預金商品

- 国内で初めて、PIFの原資となる「インパクト預金」の取扱い開始

2024年度募集実績：167社、220.5億円

4. 取組によってもたらされた社会的インパクトの影響範囲

ディブレイクのインパクト

- 事業活動によるKPIの達成を通じて、インパクトを創出

環境面

食品ロス削減、
CO2排出量削減、
食品事業者の生産性向上

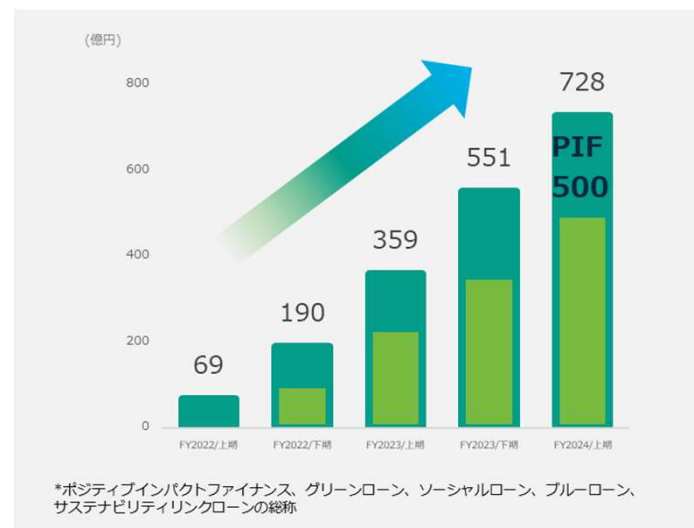
社会面

雇用環境向上、被災地支援、
ダイバーシティの推進
食品事業者の付加価値向上

- 冷凍業界における先進的な取り組みとして、
食品ロス・CO2排出量削減への貢献度について、計量化を目指す

商工中金のインパクト

- PIFによる資金供給を通じて、全国の中堅・中小企業・スタートアップのサステナブル経営を支援
- PIFを通じて設定したKPIは**1600件以上**
(2024年3月末)、これらのKPIの達成を通じて社会インパクト創出へ寄与



※PIF残高のうち、都内事業者への融資は**100億円以上**

5. 東京都の取組との親和性

ディブレイク～都内事業者のビジネス機会創出

- 都内事業者100社（累計）に「アートロックフリーザー」を販売し、**都内の飲食・食品事業者とともに、特殊冷凍を活用した新たなビジネス機会の創出**に取り組んでいる。

<事例>

ミシュラン獲得の「銀座おのでら」と連携し、特殊冷凍を用いた冷凍江戸前鮭の共同開発を実施



- 「**TIB 1st Anniversary WEEK**（2024年11月25日～12月1日）」にて本格冷凍寿司325セットを販売。購入者へのアンケート調査では約90%のお客様から「美味しい」と高評価を獲得。

商工中金

～サステナブルファイナンス活性化/イノベーション創出

サステナブルファイナンス活性化

- 都内のPIF実行数**は、都道府県別**最多**（累計38社、100億円以上 2024年3月末時点）
- 今後も都内事業者に向けて**PIFによる資金供給を拡大していく方針**
※2024年9月東京都と「サステナブルファイナンス活性化に向けた連携協定」を締結

イノベーション創出

- これまでに**全国約600社以上のスタートアップを支援**。都内事業も多数。
- 日本初の大規模なベンチャーキャピタルの集積地点である「**Tokyo Venture Capital Hub**」（港区）へ参画